

2 契約当事者の性別・年代別の相談傾向

(1) 性別・年代別の相談件数

年代別では30才代の相談が10,183件と全体の4分の1を占めています。

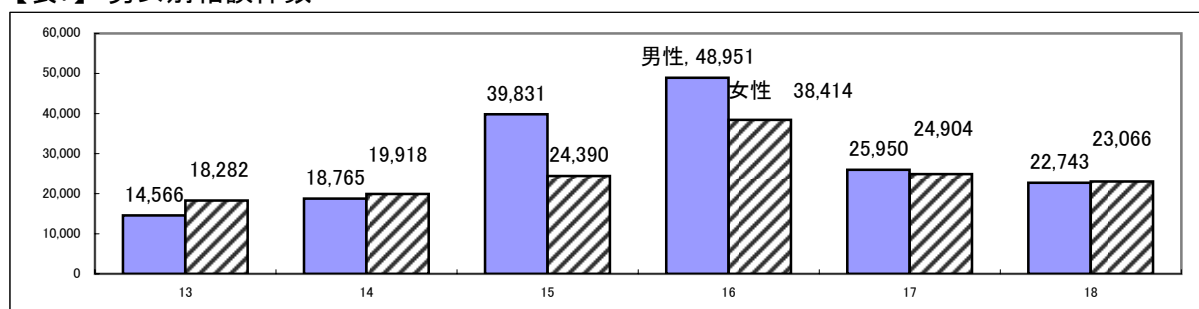
男女別では、男性が22,743件、女性が23,066件でした。不当請求に関する相談が急増した15年度以降、男性の相談が多くなっていましたが、平成18年度は女性の相談が男性を上回りました。

【表6】

(単位：件)

	18年度					17年度				
	男性	女性	団体	不明	合計	男性	女性	団体	不明	合計
20才未満	1,298	778	0	20	2,096	1,614	755	0	17	2,386
20才代	3,871	3,374	0	8	7,253	5,349	4,147	0	4	9,500
30才代	5,235	4,940	0	8	10,183	6,138	5,489	0	8	11,635
40才代	3,202	3,561	0	6	6,769	3,714	3,680	0	2	7,396
50才代	2,595	3,508	0	6	6,109	2,683	3,697	0	4	6,384
60才代	2,455	2,804	0	1	5,260	2,571	2,870	0	2	5,443
70才以上	2,187	2,588	0	9	4,784	2,129	2,868	0	14	5,011
不明・無関係	1,900	1,513	851	621	4,885	1,752	1,398	831	746	4,727
	22,743	23,066	851	679	47,339	25,950	24,904	831	797	52,482

【表7】 男女別相談件数



(2) 相談の多い商品・役務

すべての年代で「オンライン等関連サービス」の相談は多くありますが、特に20才未満では1,406件と20才未満の相談全体の67.1%を占めています。20才代では「エステティックサービス」の相談が210件あり、「エステ」の全相談(357件)の58.8%を占めています。20代の相談の「エステ」の相談のうち200件、率にして95.2%が女性の相談でした。

「工事・建築」に関する相談は、年代が上がるにつれ増加し、「工事・建築」に関する相談の42.0%が契約当事者が60才以上でした。

【表8】 年代別の相談の多い商品・役務

(単位：件)

年代	商品・役務	件数	商品・役務	件数	商品・役務	件数	商品・役務	件数	商品・役務	件数
全年代	オンライン等関連サービス	8014	商品一般	5469	フリーローン・サラ金	4762	不動産賃借	1831	工事・建築	1333
20才未満	オンライン等関連サービス	1406	電話サービス	41	商品一般	38	自動二輪車	21	新聞	20
20才代	オンライン等関連サービス	2076	フリーローン・サラ金	810	商品一般	478	不動産賃借	370	エステティックサービス	210
30才代	オンライン等関連サービス	2251	フリーローン・サラ金	1280	商品一般	1206	不動産賃借	576	四輪自動車	193
40才代	オンライン等関連サービス	1081	商品一般	947	フリーローン・サラ金	864	不動産賃借	245	工事・建築	174
50才代	商品一般	953	フリーローン・サラ金	676	オンライン等関連サービス	556	工事・建築	245	不動産賃借	176
60才代	商品一般	832	フリーローン・サラ金	423	工事・建築	290	オンライン等関連サービス	268	会社生命保険	126
70才以上	商品一般	549	工事・建築	270	フリーローン・サラ金	204	電話サービス	161	ふとん類	134